

| | | | |
|---------|--|------|-----|
| 対象学年等 | 中学生以上 | ジャンル | 児童書 |
| 書名 | 一〇五度 著：佐藤まどか（あすなろ書房） | | |
| お勧めポイント | イスのデザインコンクールに挑むことになった中学生の真と梨々が「最高に座り心地のいいイス」作りを目指して、ひたむきに夢に進んでいく。イスの背もたれは105度。椅子職人である真の祖父の言葉を借りれば「人が寄りかかりあうのに適切な角度も105度」。進路のことを考えるきっかけ、好きなことを続けていくことについて自分の思いと重ね合わせながら読み進められる物語です。 | | |

| | | | |
|---------|--|------|----|
| 対象学年等 | 中学生以上 | ジャンル | 絵本 |
| 書名 | ソバニイルヨ 著：喜多川泰（幻冬舎） | | |
| お勧めポイント | 勉強が嫌いで、周囲の目ばかりを気にして日々過ごしている隼人。さらに、些細な出来事がきっかけで、仲の良かった友達との関係がもつれ、孤立することになってしまった。ある日、自分の部屋に帰ると、そこには見慣れぬ大きな物体が。それは、長期間不在になる父親が残していったロボット・ユージだった。隼人がユージとの生活で成長していく姿、父親の深い愛情。読み終わるとあたたかい気持ちになります。 | | |

| | | | |
|---------|--|------|----------|
| 対象学年等 | 中学生 | ジャンル | ノンフィクション |
| 書名 | 女子中学生の小さな大発見 著：清 邦彦（新潮社） | | |
| お勧めポイント | 世紀の大発見、なんていうととってもたいそうなことに見えるけれど、自分の周りのことも、ちょっとアンテナを張って見直してみたら、いろいろな大発見があるはず！こんな時だからこそ、「あ、これなら私も見つけられそう」という何かに気付いてみよう。そこから、世紀の大発見、につながることだってあるかも。 | | |

| | | | |
|---------|---|------|----------|
| 対象学年等 | 中学生 | ジャンル | ノンフィクション |
| 書名 | 谷川俊太郎質問箱 星空の谷川俊太郎質問箱 著：谷川 俊太郎（ほぼ日刊イトイ新聞） | | |
| お勧めポイント | 小学校や中学校の国語の教科書で詩を読んだことがあるでしょう、谷川俊太郎さん。いろいろな人の質問に答えています。小さい子からお年寄りまで様々な質問に、自分だったらなんて答えるだろう、と考えながら読んでみてください。そして、大人にも子どもにもいろいろな悩みが実はあって、みんなそんな気持ちを持ちながら毎日を暮らしているんだな、ということに気づけるのではないのでしょうか。 | | |

| | | | |
|---------|---|------|----------|
| 対象学年等 | 中学3年生以上 | ジャンル | ノンフィクション |
| 書名 | ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー 著：ブレディみかこ | | |
| お勧めポイント | 母日本人、父イギリス人の両親を持つイギリスで暮らす少年が選んだ中学校はイギリスの底辺公立校！その彼がイギリスの多様性の中で成長していく物語。私はエンパシーとシンパシーの違いについて学んでいるところが大好きです。 | | |
| お勧めポイント | <p>「多様性ってやつは、喧嘩や衝突が絶えないし、そりゃないほうが楽よ」「楽じゃないものが、どうしていいの？」</p> <p>著者であるブレディみかこさんは、福岡生まれの元保育士で、ライター・コラムニスト。英国人の配偶者と中学生の息子と英国に住んでいます。息子である「ぼく」が通う学校は、毎日が事件の連続。人権差別やジェンダー、時には貧富の差でギスギスしたり、アイデンティティーに悩んだり……。自分を大切にすること、他人を大切にすることの意味をじっくりと考えてみたくになります。</p> | | |

| | | | |
|---------|--|------|----|
| 対象学年等 | 中・高校生 | ジャンル | 文芸 |
| 書名 | かがみの弧城 作者 辻村深月（ポプラ社） | | |
| お勧めポイント | <p>学校での居場所をなくし、閉じこもっていた“こころ”の目の前である日突然部屋の鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先にあったのは、城のような不思議な建物。そこにはちょうど“こころ”と似た境遇の7人が集められていた。なぜこの7人が、なぜこの場所に。すべてが明らかになるとき、驚きとともに大きな感動に包まれる。生きづらさを感じているすべての人に贈る物語。</p> <p>2018年本屋大賞 第11回神奈川学校図書館大賞 熊本県学校図書館大賞2017 等 7冠</p> <p>読み始めたら止まらない。どんどん引き込まれていく物語。 不登校といっても、そうなってしまった理由は千差万別。それぞれが違う事情を抱えていて、その一つ一つが上手く語られている。 登場人物の1人である“喜多嶋先生”の子どもたちへの寄り添い方、見守り方、心から目の前の子どもに向き合う姿勢は先生方にもぜひ読んでほしい一冊である。</p> | | |

| | | | |
|---------|---|------|-----------|
| 対象学年等 | 中学生 | ジャンル | ヤングアダルト新書 |
| 書名 | バカなおとなにならない脳 著：養老孟司（イースト・プレス） | | |
| お勧めポイント | 心ってなんだろう。脳みそってどうなっているのだろう。なんでこんな気持ちになるんだろう。自分のことなのに、自分でよく分っていないこと、たくさんありますよね。バカとかりこうとか、頭がいいとか悪いとか、どういうことだろう。ここには皆さんと同じ世代の人たちが投げかけた質問に、養老先生が時に詳しく、時に厳しく、答えてくれます。 | | |

| | | | |
|---------|---|------|----|
| 対象学年 | 中学生 | ジャンル | 小説 |
| 書名 | 戸村飯店青春100連発 著：瀬尾 まいこ（文春文庫） | | |
| お勧めポイント | 大阪の庶民的な中華料理屋で育った二人の兄弟。要領も見た目もいいクールな兄ヘイスケとボケがうまく単純な弟コウスケ。二人の悩みや葛藤をユーモアたっぷりに描き、笑いとともに心が温くなるそんな小説です。 | | |

| | | | |
|---------|--|------|-----|
| 対象学年 | 中学生 | ジャンル | 旅行記 |
| 書名 | 深夜特急 著：沢木 耕太郎（新潮文庫） | | |
| お勧めポイント | 大きなリュックサックを背負って世界を旅するバックパッカー。安宿に泊まり、訪れた国の家庭料理を食べ、暮らしを肌で感じ溶け込んでいく。果たしてアジアからヨーロッパまで続く長い旅の先に何を見るのか。 | | |

| | | | |
|---------|--|------|----|
| 対象学年 | 中学生 | ジャンル | 小説 |
| 書名 | 夜のピクニック 著：恩田 睦（新潮文庫） | | |
| お勧めポイント | 高校生活最後を飾るイベント「歩行祭」。それは、全校生徒が夜を徹して80 km 歩き通すと言う北高伝統の行事だった。ただ歩き続ける、友達と歩くことを通し、高校生たちの胸に秘めた思いが明らかになっていく青春小説。 | | |

| | | | |
|---------|--|------|----|
| 対象学年等 | 中学生 | ジャンル | 小説 |
| 書名 | かもめのジョナサン 著：リチャード・バック 訳：五木 寛之（新潮文庫） | | |
| お勧めポイント | 「飛ぶ歓び」「生きる歓び」を追い求め、自分の限界を突破しようとした、かもめのジョナサン。群れから追放された彼は、精神世界の重要さに気づき、見出した真実を仲間伝える。しかし、ジョナサンが姿を消した後、残された弟子のかもめたちは、彼の神格化を始め、教えは形骸化していく…。伝説のかもめが自由への扉を開き、あなたを変える! | | |

| | | | |
|---------|---|------|----|
| 対象学年等 | 中学生 | ジャンル | 小説 |
| 書名 | レヴォリューションNo.3 著：金城 一紀（角川文庫） | | |
| お勧めポイント | とある高校に通う男子高校生たちが、生物教師である通称“ドクター・モロー”の「君たち、世界を変えたくはないか？」の一言に感化され、同じ思いをもつメンバーが集まり「ゾンビーズ」を結成しました。彼らの、突き抜けるほど純粋な思いで人生に『革命』を起こそうとする、青春時代のまぶしさ、甘酸っぱさを描いた作品です。続編に「フライ・ダディ・フライ」や「SPEED」などもあります。 | | |

| | | | |
|---------|--|------|----|
| 対象学年等 | 中学生 | ジャンル | 小説 |
| 書名 | 死神の精度 著：伊坂 幸太郎（文春文庫） | | |
| お勧めポイント | 6つの短い物語で構成されていて、読みやすいです。死神というと怖いイメージがありますが、どこか憎めない死神と人間との出会いが織りなす笑いあり、涙ありのハートフルなストーリーに心が温かくなります。 読んだ後には、「あれ？この人、もしかして死神かも…？」と実際の生活場面で思ってしまうかもしれません。 | | |

| | | | |
|---------|---|------|-----|
| 対象学年等 | 中学生 | ジャンル | 文芸書 |
| 書名 | 蜜蜂と遠雷 作 恩田陸（幻冬舎） | | |
| お勧めポイント | <p>もしあなたが楽器を演奏するならば、これを読み終わったらすぐにでも楽器を触りたくなるでしょう。こんな状況で楽器に触れることがままならない人、いつか思う存分練習ができる時が来る時のために、この本を読んでしっかりとイメージを膨らませてください。こんな状況で普段よりも練習の時間がとれている人、この本を読めばこんな風に演奏したい、という気持ちがわいてくるでしょう。</p> <p>もしあなたが楽器を演奏しなくても、これを読み終わったら音楽ってすごいな、と感じられると思います。</p> <p>なかなかボリュームのある本ですが、時間のとれる今こそ、一気にどうぞ。</p> | | |
| お勧めポイント | <p>国際ピアノコンクールに挑戦する4人のピアニストの、成長を描いた物語。ドラマティックなピアノコンクールの世界に引き込まれながら、「世界はこんなにも音楽に溢れている」ことを実感できます。映画化されましたが、まさかこの作品が映画化できるとは！と驚きました。</p> <p>ピアノを弾く人は、ぜひ読んでください。あなたの音楽の世界が広がります。ショパン、リスト、バルトーク、ドビュシー、ブラームス、プロコフィエフ・・・。</p> <p>スマートフォンを横に置いて、該当の曲を再生しながら聴くのがおすすめです。</p> | | |

| | | | |
|---------|---|------|--------|
| 対象学年等 | 中学生以上大人まで | ジャンル | 文学（小説） |
| 書名 | 「君たちはどう生きるか」 著：吉野源三郎（マガジンハウス・岩波書店・ポプラ社） | | |
| お勧めポイント | <p>吉野源三郎さんの代表作。主人公コペル君が日常で様々な発見をしたり、つまずいたり苦しんだりしたとき、叔父（おじ）さんが分かりやすく説明し話してくれます。叔父さんとの心の交流を通して中学2年生のコペル君が成長していく物語です。最初に書かれたのは今から80年も前なので、学校制度が異なりコペル君は15歳。中学2年生の孫にプレゼントした本です。さて、君は、また、私はどう生きるか？（漫画「君たちはどう生きるか」もお勧め）</p> | | |

| | | | |
|---------|---|------|----|
| 対象学年等 | 中学生～ | ジャンル | 小説 |
| 書名 | 「夢をかなえるゾウ」 著者：水野敬也（飛鳥新社） | | |
| お勧めポイント | <p>「変なゾウ」インドの神様ガネーシャとサラリーマンが繰り広げるコメディータッチの小説。人生を変えたいと思っているサラリーマンが、ガネーシャの「変な(?)教え」を受けて、少しずつ意識と行動を変えていく物語。笑いながらも感心して「自分もやってみよう！」とってしまう小説です。</p> | | |

| | | | |
|---------|---|------|----|
| 対象学年等 | 中学生～ | ジャンル | 小説 |
| 書名 | 「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」 著者：リリー・フランキー（扶桑社） | | |
| お勧めポイント | 還暦を過ぎた母と子どものつながりと思いやりのストーリー。身のまわりの人の大切さを改めてかみしめられる物語。笑って泣ける本です。是非一読を！ | | |

| | | | |
|---------|--|------|----|
| 対象学年等 | 中学生～ | ジャンル | 小説 |
| 書名 | 「竜馬がゆく」 著者：司馬遼太郎（文春文庫） | | |
| お勧めポイント | 幕末の志士、坂本龍馬の半生の物語。「この平和な日本にこんな大変な時代があったんだ」「こんな風に生涯を送った人がいるんだ。たった一度の人生を自分はどう生きるか」など一人の若者の人生からたくさんのかんがえさせられる名作。 | | |

| | | | |
|---------|---|------|----|
| 対象学年等 | 中学生～ | ジャンル | 小説 |
| 書名 | 「天地明察」 著：沖方丁（角川書店） | | |
| お勧めポイント | 江戸時代の改暦の物語。多くの苦勞や苦惱の末、大事業を成し遂げた主人公。さわやかで感動的な結末。学問というものは、世の中の役に立つとともに、無機質なものではなく、情熱という血で積み上げられてきたものだと思える本。本当に面白い本です。 | | |

| | | | |
|---------|--|------|----|
| 対象学年等 | 中学生～ | ジャンル | 小説 |
| 書名 | 「君の臍臓を食べたい」 著：住野よる（双葉社） | | |
| お勧めポイント | 主人公は余命短い女子高校生とひょんなことでその秘密を知ってしまったクラスメートの男子高校生。二人の距離感ややさしさや思いやりが不器用な様子の中からも感じられる。人を思う気持ちのすばらしさが感じられる物語。 | | |

| | | | |
|---------|--|------|----|
| 対象学年等 | 中学生～ | ジャンル | 小説 |
| 書名 | 「永遠のゼロ」 著：百田尚樹（講談社文庫） | | |
| お勧めポイント | 戦争に行った祖父のことを調べるうちにわかってきたことは…。戦争という究極の状況の中でも人はこんな風に生きることができる。超ベストセラー。ぐいぐい引き込まれます。 | | |

| | | | |
|---------|---|------|--------|
| 対象学年等 | 中学3年生～高校生 | ジャンル | 新書（社会） |
| 書名 | 「友だち幻想」一人と人との〈つながり〉を考えるー 著者：菅野 仁（ちくまプリマー新書） | | |
| お勧めポイント | <p>「みんな仲良く」という重圧〈プレッシャー〉に苦しんでいる人へ。」本の帯にはそう書かれています。</p> <p>友だちが大切、でも友だちとの関係を重苦しく感じてしまう、友だちのことで悩んでしまう・・・、そんな思いをもつことはありませんか。</p> <p>この本は、社会学者の立場から多感な年頃の中高生に向けて書かれたものです。ちょっと難しいな・・・と感じるかもしれませんが、「なぜ友だちのことで悩みはつきないのか」「なぜ、いない人の悪口を言うのか～スケープゴートの理論～」「メール即レスの不安～同調圧力～」など、「そうか！」と思えることがたくさん書かれています。この本を読んで、「人と人との距離感覚」を考えてみてください。</p> | | |